

起立不能を呈した育成牛における非定型 散発性牛白血病の1例

松山雄喜¹⁾ 村上智亮¹⁾ 大林 哲²⁾ 古林与志安¹⁾
松本高太郎¹⁾ 松井高峯¹⁾ 猪熊 壽^{1)†}

1) 帯広畜産大学畜産学部 (〒080-8555 帯広市稲田町西2線11)

2) 十勝農業共済組合 (〒089-1182 帯広市川西町基線59-28)

(2009年9月4日受付・2010年1月4日受理)

要 約

8カ月齢ホルスタイン種乳牛が起立不能を呈した。右下顎リンパ節相当部に腫瘤を認めたため、牛白血病を疑い血液検査および針吸引細胞診を実施したが、確定診断に至らなかった。病理解剖においては、環椎および胸椎にも腫瘤が存在し脊髄を圧迫していた。病理組織学的に、腫瘍細胞はBLA-36抗原陽性であり、B細胞性リンパ腫と診断した。BLV抗体は陰性であった。これらのことから、本症例は非定型若齢牛の散発性牛白血病と考えられた。

——キーワード：非定型，散発性牛白血病，起立不能。

----- 日獣会誌 63, 355～358 (2010)

† 連絡責任者：猪熊 壽 (帯広畜産大学畜産学部)

〒080-8555 帯広市稲田町西2線11 ☎・FAX 0155-49-5370 E-mail : inokuma@obihiro.ac.jp